

祝200回 竜丘大人の学校

記念の節目を迎え、記念行事を開催



竜丘公民館の代表的活動である「竜丘大人の学校」が二百回目の開催を迎え、四月二十一日（木）に記念行事が開催されました。当日の様子のほか、初代と現在の運営委員長に学校に対する思いをうかがいました。

はじめの会ではげんげ草の斉唱をハーモニカクラブの伴奏で始めました。続いて下平校長先生、今村運営委員長のあいさつでは、皆様の熱意と連携は尊敬に値し、素晴らしい成果を上げています。との話もあり熊谷自治会長の祝辞では公民館活動への協力に感謝の言葉がありました。初代運営委員長塩澤義男さんからは発足時のエピソードとして大人の学校の命名について触れ、語りかける口調で自分達の先輩から教えられた事は、全て子供達に教える使命がある、と話されました。次に第一回から参加されている方々の紹介がありました。講演では木下陸奥

さんからは竜丘の文化、自由教育、木下紫水先生からの学びの大切さを語って頂きました。シニア大学の方々のマジックショーでは練習の成果を発揮されハンカチーフの手さばきはプロに近いのでは？とも感じました。感動と笑いのイリュージョンで楽しいひとときを過ごし、最後に記念撮影を行い、閉幕しました。

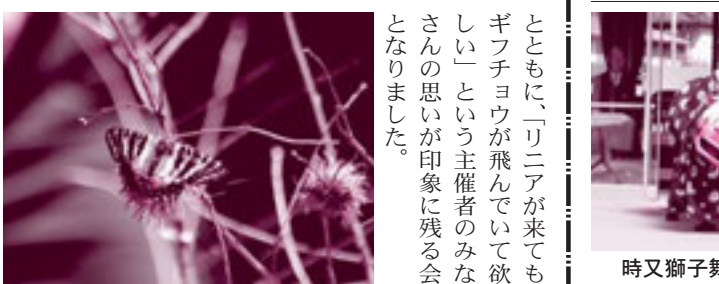
平成七年七月に開校して夏休みと冬休みの二回は休校するが、あとは休まずに続けて来たので二〇〇回。二十年の校歴が刻まれたことになりました。四十数名で開校し、大人のオ○チャと冷やかされた頃が懐かしい。第一回時の学友十数名が二〇〇回記念式の時、前列に並んだ。苦節を乗り越えて学校の基礎をつくって来られた方々の顔は清々しかった。心からの拍手を贈ります。クラブの数も増え、内容も立派になりました。落ちこぼれないように。クラブ偏重の大人の学校にならないように。これからは運営委員の腕の見せどころです。

大人は、桜の開花とともに春を告げる「ギフチョウ」がいます。四月九日（土）には、「飛んでいるギフチョウを見る会」が行われました。この会は飯田昆虫友の会が主催し、今回で四十回目の開催となります。当日は五十余名の参加があり、中には伊那市からの参加者もいました。松下会長からは、ギフチョウの特徴や地域による違いなどが説明さ

リニアが来ても飛んでいる地域に「飛んでいるギフチョウを見る会」開催

もに春を告げる「ギフチョウ」がいます。四月九日（土）には、「飛んでいるギフチョウを見る会」が行われました。この会は飯田昆虫友の会が主催し、今回で四十回目の開催となります。当日は五十余名の参加があり、中には伊那市からの参加者もいました。松下会長からは、ギフチョウの特徴や地域による違いなどが説明さ

ととともに、「リニアが来てもギフチョウが飛んでいる欲しい」という主催者のみなさんの思いが印象に残る会となりました。



そこで避難所に集まった人々が立ち上り、協力し合い、自ら生き残る方法を見出す事が重要になるでしょう。いざという時、地域住民による臨機応変に対応できる、統制のとれたコミュニケーションの形成と、状況に柔軟に対応できる知恵と技術の集積が必要不可欠なのは、ないでしょうか？

災害に対しての心構えを今一度、見つめ直しましょう。

二十年間の重み

現運営委員長 今村 豊秋

大人の学校は、平成七年六月にスタートしました。それから二十年の年月を経て今年四月、二百回の講座を迎えました。

この、記念すべき二百回の講座を迎えられたことは、大人の学校在校生一同にとって大変大きな喜びであると同時に誇りに思います。なぜなら、講座の計画から実施、クラブ活動の計画から実施、全てについて自分達で計画し実行、運営している。言い換えれば、誰からも支援を受けることなく、全てにわたって大人の学校生徒による「自主運営」によって行なわれていることです。しかも二十年間継続し活動が行なわれ今日を迎えたこの事実です。

加できませんけれど、それ以上に大切なことは、参加する強い意欲と熱意がなければ到底続けられるものではありません。

このように素晴らしい先輩の方々が在籍しておられることで生徒の皆さんが参加する励みとなり大きな目標になっています。

地域においては、地域自治会はじめ公民館、自治振興センター、地域の方々より励ましや力添えなどいろいろ側面からご支援を頂いており大変感謝しております。

この度、二百回記念講座を開催してひとつの節をつくる事が出来ました。これから未来に向かって、更に回を重ね大人の学校が継続されることを願っています。

時又ふれあいセンターが完成

盛大な落成式が開催される

三月二十七日（日）に新しい時又ふれあいセンターの落成式が開催されました。開会セレモニーとして、最初に鈴岡太鼓による演奏が披露されました。勇壮な太鼓の音が会場いっぱい響き渡っていました。続いて、最近復活を進めている時又の獅子舞が披露されました。最後に、牧野市長をはじめ、時又区長、市議等によるテープカットが行われました。

竣工に寄せて

時又区長 下平 善彦

当センターの新築に際し、各方面のご支援を賜り、事業を完了することができました。関係の皆様方に改めてお礼を申し上げます。当センターは、概ね八十人余が収容可能な大ホールのほか、小会議室、調理室、和室等があり、木造特有の温かみのある居住感を味わうことができます。また、「時又はだか祭り」の「神輿倉庫」を併設いたしました。新築にあたり、「区民の自主的な活動の拠点づくり」を第一のコンセプトとし

した。様々な活動を通じ、区民の皆様が相互に理解し合える人づくりや、住みやすい地域づくりのために、有効に利用されることを目指しております。第二に「災害時に強い避難所」とします。三六災では、時又地区も大きな被害を受けましたが、当時の災害復興は、かつてこの地にあった市役所竜丘支所が拠点として大きな役割を果たしました。将来いつ起こるか分からない災害に対して、このセンターを避難所として活用します。

なお、当センター建設財源には、高齢者介護支援事業の国交付金が投入されていることから、広域的な「地域支えあいセンター」としても役割を果たしてまいります。

ヤブ取

この度の熊本地震に於いて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。念通寺断層が走る竜丘地区も、同じように大きな地震が起きる可能性を潜めています。皆さんは普段どう準備をされていますか？建物の耐震化、水や食料の備蓄、避難訓練等万全でしょうか？

熊本地震のように大きな地震が連続して起きた場合、たとえ耐震構造の建物であっても絶対安全とは言えません。どこか構造の一部に損傷が生じると、それ以降の大きな地震には耐えられなくなる事があります。性能を過信せず周囲の状況、建物の現状を把握し、早めの避難を心がけましょう。

ハザードマップを作成し、緊急時に利用できる井戸等の把握をしている地域もあります。しかし、地震発生直後に必ず給水車が来て、水を汲み上げて運んでくれるとは限りません。また食料や医薬品、衣類等の救済物資もすぐには手元に届かないでしょう。道路や橋が寸断され交通が断たれるとともに、緊急対応を行う行政機関や職員も被災し、各所の対応に人手が足りなくなってしまうのです。

時又獅子舞、復活の舞！



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,911人
男子	3,358人
女子	3,553人
世帯数	2,531戸
(28年4月末現在)	

加できませんけれど、それ以上に大切なことは、参加する強い意欲と熱意がなければ到底続けられるものではありません。

このように素晴らしい先輩の方々が在籍しておられることで生徒の皆さんが参加する励みとなり大きな目標になっています。

地域においては、地域自治会はじめ公民館、自治振興センター、地域の方々より励ましや力添えなどいろいろ側面からご支援を頂いており大変感謝しております。

この度、二百回記念講座を開催してひとつの節をつくる事が出来ました。これから未来に向かって、更に回を重ね大人の学校が継続されることを願っています。

時又ふれあいセンターが完成

盛大な落成式が開催される

三月二十七日（日）に新しい時又ふれあいセンターの落成式が開催されました。開会セレモニーとして、最初に鈴岡太鼓による演奏が披露されました。勇壮な太鼓の音が会場いっぱい響き渡っていました。続いて、最近復活を進めている時又の獅子舞が披露されました。最後に、牧野市長をはじめ、時又区長、市議等によるテープカットが行われました。

竣工に寄せて

時又区長 下平 善彦

当センターの新築に際し、各方面のご支援を賜り、事業を完了することができました。関係の皆様方に改めてお礼を申し上げます。当センターは、概ね八十人余が収容可能な大ホールのほか、小会議室、調理室、和室等があり、木造特有の温かみのある居住感を味わうことができます。また、「時又はだか祭り」の「神輿倉庫」を併設いたしました。新築にあたり、「区民の自主的な活動の拠点づくり」を第一のコンセプトとし

した。様々な活動を通じ、区民の皆様が相互に理解し合える人づくりや、住みやすい地域づくりのために、有効に利用されることを目指しております。第二に「災害時に強い避難所」とします。三六災では、時又地区も大きな被害を受けましたが、当時の災害復興は、かつてこの地にあった市役所竜丘支所が拠点として大きな役割を果たしました。将来いつ起こるか分からない災害に対して、このセンターを避難所として活用します。

なお、当センター建設財源には、高齢者介護支援事業の国交付金が投入されていることから、広域的な「地域支えあいセンター」としても役割を果たしてまいります。

ヤブ取

この度の熊本地震に於いて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。念通寺断層が走る竜丘地区も、同じように大きな地震が起きる可能性を潜めています。皆さんは普段どう準備をされていますか？建物の耐震化、水や食料の備蓄、避難訓練等万全でしょうか？

熊本地震のように大きな地震が連続して起きた場合、たとえ耐震構造の建物であっても絶対安全とは言えません。どこか構造の一部に損傷が生じると、それ以降の大きな地震には耐えられなくなる事があります。性能を過信せず周囲の状況、建物の現状を把握し、早めの避難を心がけましょう。

ハザードマップを作成し、緊急時に利用できる井戸等の把握をしている地域もあります。しかし、地震発生直後に必ず給水車が来て、水を汲み上げて運んでくれるとは限りません。また食料や医薬品、衣類等の救済物資もすぐには手元に届かないでしょう。道路や橋が寸断され交通が断たれるとともに、緊急対応を行う行政機関や職員も被災し、各所の対応に人手が足りなくなってしまうのです。

時又獅子舞、復活の舞！

「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」 竜丘地域自治会 4年目 スタート



新たな気持ちで
スタート
地域自治会長 熊谷和美

三月二十九日に地域自治会年度末総会を行い、平成二十七年事業・決算報告及び二十八年度事業計画・予算について審議がなされ、各委員会や公民館の委員の方々の頑張りを感しながら、新たな気持ちでスタートしました。

竜丘地区基本構想ができて三年目となりますが、地域の課題を解決するためには、関係機関と連携が必要と考えました。五月六日に初めての企画として、自治会役員と飯田商工会議所竜丘支部長、桐林環境産業公園連絡会長、地元市議、小中学校長、保育園長、警察署竜丘駐在、それに地域自治会の事務局として日々頑張っていた日進月歩。あわてな

振興センター職員の方々と情報交換と交流を目的に懇談会を行いました。今後も気軽に相談等し合えるきっかけづくりができたと感じています。

東北、九州と、日本列島のどこで地震が発生しても、

おかしくない状況で、もちろん、私たちの地域も例外ではありません。自主防災組織も訓練のための組織とならず、万が一に備え、より具体的な訓練活動や各自の役割を再確認することが望まれます。

また、熊本を中心とする九州での大きな地震で犠牲になられた方、家屋が倒壊し避難生活されている方々には心よりお見舞い申し上げます。

今年度より三年間お願いした経験豊かな防災委員の方々のご指導により防災計画を推進しながらも、災害がなく、皆健康で暮らせる毎日であってほしいと思います。

年度初めにあたって 公民館長 下平勝熙



一年三百六十五日、三歩進んで二歩さがり、又三歩進みの日進月歩。あわてな

統を重んじつつ、前年事業を手直し見直し負担軽減を図ってもらっている。

今年度は、企画委員会のあり方を過去を振り返りながら探っていききたい。現在各専門委員会、特別委員会の事業計画、総括の情報共有の場となっている。今、

社会は世代間のバランスがよくなく、介護、子育てなど様々な課題があることから、企画委員会として様々な機関、団体と相談調整を図りながら講演会、学習の必要性を検討してみたい。特別委員会の古墳の会は、

国の史跡指定申請の推移を見守り、ロマンあふれる竜丘の原風景を守ること。自由教育(児童自由画)を顕彰し、保存のための学習と地域の皆さんの理解を深める。

元公民館長木下陸奥氏から「竜丘の文化は高い。地域は人格体であり生命が宿っている。もっといいものを求めようというのが丘の土壌である」ことをお聞きしたが、そこまで崇高で

る心配もある。社会情勢が多様化し考え方も様々、参加する様子はうらやましいさもあるが、行事に参加したい、やってみたいと思いつつ、反面、桎梏(自由を束縛される)の心理も否定できない。運営に強制は共有できない葛藤もある。

公民館新委員長より

文化委員長 代田 勇



本年度、文化委員長を務めます、長野原の代田です。昨年、初めて文化協力員をさせていただきましたが、今年度副委員長を飛び越して委員長を仰せつかり、その責任の重さを痛感しております。

今年度は、今までの委員会が築いてきた竜丘独自の文化活動を継承しながら自分の経験を生かして、より深い取り組みになるよう努力したいと思います。人形劇、文化祭など皆さんのご協力は欠かせません。様々な

体育委員長 岡村 明



な事業を通じて自らが体験し、地域の文化に触れていただける場にしたいと思っています。

今年度体育委員長を務める事となりました桐林の岡村です。一年間よろしくお願ひします。体育委員会の事業は大きく分けて年三回事業あります。五月には夏季スポーツ大会、十月の市民運動会、十二月は冬季スポーツフェスティバルがあります。どの事業も竜丘の皆さんの協力がなければ行うことができません。特に

広報委員長 塩澤和至



市民運動会は、近年中学生にもご協力頂きながら実施され、地域に定着した事業となっています。昨年は残念ながら中止となりましたが、今年も運動会だけでなく公民館事業へのご協力、よろしく願ひいたします。

今号で三百三十三号を数える、伝統ある竜丘公民館報を継続し、より地域の発展のために事業等の報告や情報の発信を行ってまいります。

転入

出納担当 所澤賢治



このたび上下水道局より異動してまいりました。竜丘自治振興センターでは、窓口業務を担当させていただいております。また竜丘地域自治会では安全委員会、日赤奉仕団、自主防災会の事務局を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

転出

出納担当 小木曾 誠

平成二十三年から地域のみなさんに支えられながら竜丘地区の一員として、竜丘地区基本構想や時又灯ろう流し、交通規制「ゾーン30」などに携わり、他では経験出来ない充実した五年間でした。微力ではありましたが、少しでも役に立てたのかなと感じています。大変お世話になりました。

公民館管理係 小笠原滋子

地域の皆様のお力添えを頂きながら「知り合ってふれあって学びあい」過ごした充実した三年間は、私のとても大切な財産になりました。これから公民館が皆様の憩いの場、学びの場である事を願っています。三年間本当にありがとうございました。

公民館管理係 平沢進子



このたび管理係をさせていただくことになりました。公民館活動の活発なこの地

豪快な舞を披露 「飯田お練りまつり」 で熱演

七年に一度の南信州地域最大の伝統芸能の祭典「飯田お練りまつり」が三月二十五日から二十七日までの三日間開催されま

した。今年回は出演団体が四十七団体と過去最高となる中、竜丘からは「駄科下平獅子舞」と「駄科南平獅子舞」が参加し、二日間で三十五万人



商工会議所竜丘支部が 児童自由画保存顕彰委員会へ寄付

三月三十日(火)の地域自治会年度末総会において、商工会議所竜丘支部(代表 伊原支部長)より、児童自由画保存顕彰委員会への寄付が行われました。この寄付は竜丘の教育文化を語る上で重要な児童自由画の保存活動への支援を目的に行われており、今回で三回目、合計金額は二十八万

円を数えます。下平公民館長よりお礼の言葉が述べられたほか、総会において二十八年度に児童自由画資料館建設基金として寄付金を積み立てていくことが承認されました。

平成28年度 竜丘地域自治会会計 予算				
		収入合計	34,812,000	
		支出合計	34,812,000	
		差引残高	0	
【収入】 (単位：円)				
委員会	事業項目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較(A-B)
1 地域自治会		34,812,000	35,105,000	△ 293,000
1 会費収入		15,300,000	15,300,000	0
2 パワーアップ交付金A		6,141,000	6,117,000	24,000
3 交付金B		2,931,800	2,899,800	32,000
4 その他 交付金及び補助金(交付金C)		2,109,500	1,968,842	140,658
5 太陽光発電売電収入		97,000	97,000	0
6 使用料		250,000	200,000	50,000
7 繰越金		7,621,774	8,321,392	△ 699,618
8 繰入金		0	0	0
9 寄付金		0	0	0
10 預金利息		926	966	△ 40
11 雑収入		360,000	200,000	160,000
	収入合計	34,812,000	35,105,000	△ 293,000
【支出】 (単位：円)				
委員会	事業項目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較(A-B)
1 区長会		13,122,000	11,990,000	1,132,000
1 総務費		10,148,000	8,933,000	1,215,000
2 事業費		2,974,000	3,057,000	△ 83,000
2 地域振興委員会		5,659,000	5,790,000	△ 131,000
3 安全委員会		1,948,000	2,040,000	△ 92,000
4 福祉健康委員会		2,869,000	2,979,000	△ 110,000
5 環境委員会		1,150,000	1,273,000	△ 123,000
6 公民館		5,847,000	5,551,000	296,000
1 文化委員会		815,000	795,000	20,000
2 体育委員会		685,000	679,000	6,000
3 広報委員会		475,000	465,000	10,000
4 育成委員会		750,000	695,000	55,000
5 民俗資料保存委員会		100,000	100,000	0
6 学級講座他		1,800,000	1,615,000	185,000
7 公民館管理		1,222,000	1,202,000	20,000
7 特別委員会		380,000	710,000	△ 330,000
1 竜丘古墳の会		280,000	460,000	△ 180,000
2 自由画保存顕彰委員会		100,000	250,000	△ 150,000
8 予備費		3,537,000	4,472,000	△ 935,000
9 積立金		300,000	300,000	0
	支出合計	34,812,000	35,105,000	△ 293,000